

大阪的何って？

水辺から考える 大阪暮らし アート おおさか

2023 9/9

（土） 13:00 - 16:30
12:30 開場

会場：中之島会館

中之島フェスティバルタワー・ウェスト4階

参加費
無料

右のQRコードからWEBに
アクセスしお申込みください



先着250名《申込受付期間：7/1～9/7》

“ 水辺まち歩きの見点、美術感の新しい楽しみ方など ”
「参加するコミュニティと新しい賑わい」へのヒントが山盛り

ひと昔前、大阪は商工業都市が金看板。「キタ」や中之島・御堂筋はビジネスセンターの象徴でした。ところが、新しい「都心生活者」が増え、他方、典型的サラリーマン・OLの姿は驚くほど減りました。これら生活シーンの激変により、水辺の象徴、中之島でも、これまでとは一味も二味も違うコミュニティが立ち昇り始めています。

そこで今回、井上章一さんの著『大阪的「おもろいおぼはん」は、こうしてつくられた』（幻冬舎新書 2018年）が提起した「大阪文化の見点」を端緒に、上方落語をはじめとした芸能・文化・美術感に思いを馳せつつ、「コミュニティを旅するように」シンポジウム企画を練りました。

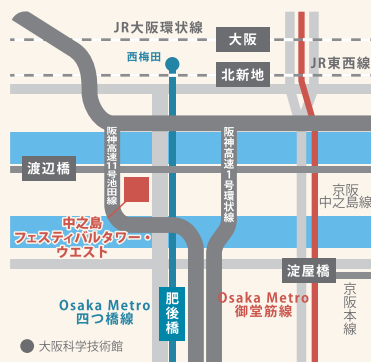
会場へのアクセス

中之島会館

中之島フェスティバルタワー・ウェスト4階

● 大阪市北区中之島3丁目2-4

■ 京阪中之島線「渡辺橋」駅12番出口直結 ■ 京阪本線「淀屋橋」駅7番出口より徒歩約5分 ■ 地下鉄御堂筋線「淀屋橋」駅7番出口より徒歩約5分 ■ 地下鉄四つ橋線「肥後橋」駅4番出口直結 ■ JR「大阪」駅 桜橋口より徒歩約11分 ■ JR東西線「北新地」駅11-5番出口より徒歩約8分



基調講演

1 大阪的一意匠論

井上章一

国際日本文化研究センター 所長



2 「おおさか」の水辺 過去～現在～未来

- 浪花百景・・・「幕末の水辺に迷い込む」
- 変化する水辺 明治・大正・昭和

3 パネルディスカッション コミュニティを旅するように

1

基調講演
大阪的 - 意匠論 (45分)

井上章一 国際日本文化研究センター 所長

2

「おおさか」の水辺・過去～現在～未来
浪花百景・・・「幕末の水辺に迷い込む」 (30分)

橋爪節也 大阪大学 名誉教授
波瀬山祥子 大阪大学総合学術博物館 研究支援推進員

変化する水辺 明治・大正・昭和 (30分)

船越幹央 大阪大学総合学術博物館 副館長

休憩 10分

3

ビデオ映像による紹介
「コミュニティを旅するように」顔見せクルーズ&落語と絵本のアンヌアーレ (15分)

(一財)大阪市コミュニティ協会

パネルディスカッション
コミュニティを旅するように (80分)

井上章一
笑福亭仁智 公益社団法人 上方落語協会 会長
橋爪節也 / 船越幹央 / 波瀬山祥子(司会・進行)
堀久仁子 (一財)大阪市コミュニティ協会 都市コミュニティ研究室 室長代理



幕末の水辺に迷い込む「なにわ百景タペストリー展」

コミュニティを旅するように「顔見せクルーズ」

コミュニティを旅するように「落語と絵本のアンヌアーレ」



PROFILE

井上章一 国際日本文化研究センター 所長

1955年、京都府生まれ。京都大学大学院工学研究科建築学専攻修士課程修了。京都大学人文科学研究所助手、国際日本文化研究センター助教授、教授を経て2020年より現職。専門は建築史、文化史、風俗史。1986年『つくられた桂離宮神話』でサントリー学芸賞、99年『南蛮幻想—ユリシズメ伝説と安土城』で芸術選奨文部大臣賞。『関西人の正体』『キリスト教と日本人』『日本に古代はあったのか』『伊勢神宮—魅惑の日本建築』『京都ざらい』『京都まみれ』『ふんどしニッポン：下着をめぐる魂の風俗史』など著書多数。



笑福亭仁智

公益社団法人 上方落語協会 会長

大阪的テイストにあふれる新作落語の名手。斬の品格を大切に独特の間合いで爆笑を誘う。芸風はどこまでも若々しく「大阪的」。自作は100本を優に超える。平成7年から新作落語道場「笑いのタニマチ」を続け、20周年記念公演で文化庁芸術祭優秀賞。平成15、17年にも文化庁芸術祭優秀賞。令和2年大阪市民表彰。平成30年から上方落語協会・会長を務める。

橋爪節也

大阪大学 名誉教授

1958年、大阪市生まれ。大阪市立近代美術館(仮称)建設準備室主任学芸員、大阪大学総合学術博物館館長を歴任。専門は日本近世・近代美術史。主著に『橋爪節也の大阪百景』(創元社)、『原寸復刻「浪花百景」集成』(創元社)などがあり、大阪の美術・歴史・文化を長年研究している。「きたのまちニュースレター」の浪花百景歳時記のナビゲーターも務める。

船越幹央

大阪大学総合学術博物館 副館長

1964年、京都市生まれ。大阪市立博物館、大阪歴史博物館の学芸員を経て、2023年より現職。専門は日本近代史・文化史で、大阪・京都など都市で生きる人々の生活・文化・意識を研究している。主著に『看板の世界』(大巧社)、『大阪の橋ものがたり』(共著、創元社)などがある。本年6月放映のNHK「プラタモリ」出演では、「キタ」の歴史を多角的に「お伝えする」ことに注力した。

波瀬山祥子

大阪大学総合学術博物館 研究支援推進員

1989年、熊本県生まれ。嵯峨嵐山文華館の学芸員を経て、2021年8月より現職。専門は日本の近世美術史。「きたのまちニュースレター」の浪花百景歳時記のコラム執筆、「浪花百景タペストリー展」の展示・解説に携わる。

堀久仁子

(一財)大阪市コミュニティ協会 都市コミュニティ研究室 室長代理

1975年大阪市生まれ。大阪市立大学創造都市研究科共生社会研究分野修了。同協会企業や専門家、NPOとの連携による講座や事業を担当。認定NPO法人サービスグラントとジョインシ企業やコミュニティのプロボノを推進。違いを大切にしたい社会参加のお手伝い等、大学や市民大学活動にも関わっている。